



読者の声

読者の皆様から寄せられた
「水とともに 2022・秋号」へ
ご意見・ご感想を紹介します

後世に引き継いでいきたい(井戸を掘った)先人の苦
労・努力・情熱等の功績と歴史を正確かつ、具体的に感
謝を込めて、継承することの重要性を対談を通じて強
く感じました。

(特集 水資源機構60年記念対談)

(60代・男性)

蛇口をひねると水が出てくるのが当たり前な昨今、つ
いつい忘れてしまいがちですが、そんな世の中になっ
たのもそんなに大昔のことではないということ。水が
行き渡ったから農業が発展したり、女性の暮らしぶりも
変化していったこと、まだまだこれから発信していくも
のや課題があること、とても興味深く拝読しました。

(特集 水資源機構60年記念対談)

(40代・女性)

水の天使とシャワーズを織り交ぜることで、とても親し
みを持てる記事になっているし、子どもイベントは盛り
上がったろうと想像できる。各事務所開催の夏イベ
ントにいろいろなタイトル、違いがあり、興味深い。

(トピックス 水の日・水の週間の紹介)

(50代・男性)

フォトコンテストで入賞した作品を見て、水はとつても
写真映えすると感じました。特に光やものを美しく反射
させている写真が、個人的に好きです。風景だけでは
なく、水と人や動植物との関わりを1枚の絵に表してい
る作品からも、身近にある水の大切さがひしひしと伝
わってきます。

(水とのふれあいフォトコンテスト)

(20代・男性)

主な 本号の ご紹介施設

奈良県:布目ダム
布目ダム管理30年を迎えて

P16

P20 栃木県:南摩ダム
未来の水のプロにつなぐ

P23 栃木県:南摩ダム
読者モニター見学会in 南摩ダム

P12 千葉県:新附洲閘門機場
利根川と霞ヶ浦に囲まれた輪中地帯を守る

P4 埼玉県:利根大堰
次代をつくる私たちの誓い

P21 愛媛県:富郷ダム
未来の水のプロにつなぐ

編集 後記

今年もあっという間に寒さの厳しい季節になってきました。新型コロナもだいぶ落ち着いてきておりますが、引き続き体調に気をつけてお過ごしください。

さて、本号では若手職員と理事長との60年記念座談会を行いました。若手職員の活気ある発言に将来の水のプロのあり方を魅せられました。また、特集私たちも歴史の生き証人では、楽しく機構の60年を振り返ることができ、歴史も学べます。60年特集記事は今号で最後になりますが、機構60年事業を皆様にPRすることができ、本当に良かったです。引き続き機構事業の広報活動に努めてまいります。

編集・発行 独立行政法人 水資源機構

〒330-6008 さいたま市中央区新都心11番地2

総務部広報課 TEL.048-600-6513 (直通) FAX.048-600-6510

安全で良質な水を安定して
安くお届けすること、
それが水資源機構の仕事です

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



ホームページ
<https://www.water.go.jp>



Twitter
https://twitter.com/jwa_pr



Facebook
<https://www.facebook.com/jwaPR>

ISSN 2187-8048